

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月18日

団体名 ぼくらの障がい知ってもらい隊 アンダンテ代表者 杉浦 幸博構成員 23 人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

僕たち障がい者は一見、大変、かわいそうなどと思われがちだが、講話を通してそのイメージを変えていくことを目的とする。また、講話・疑似体験など障がい当事者が障がいを生かした活動を行うことができる。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動を行いましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数 <sup>※1</sup>	活動内容
随時	各学校	各学校生徒・教師	852人	福祉実践教室
随時	各学校	各学校生徒・教師	1047人	福祉教育プログラム
随時	依頼先	依頼団体・依頼者		その他福祉実践企画・体験・講話
随時	市内各地	バリアフリー情報を必要とする人	ブログ閲覧者等	市内の施設・店舗等のバリアフリー情報を SNS で発信

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもちましたか。

障がい者の方たちへの理解が深まったと同時に、障がいに対する考え方を学ぶことができた。負の障がい親について考え直すきっかけとなった。(教員感想より)

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

「体験だけでなく、障がい者が生活するためにさまざまな支援があることを知れた。また、その支援を受けることでいきいきと生活する姿に触れることができた…」など、多くの方から評価をいただいたから。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。